

報道機関各位

一般財団法人 とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

第9回「ふくしま景気ウォッチャー調査」アンケート結果について

当研究所では、街角の景況感調査として、標記アンケートを4月に実施しました。内閣府の景気ウォッチャー調査では県別の数値が公表されていないことから、同調査の「福島県版」として当研究所で独自に実施しているものです。本調査は2014年6月に開始、以降、4月と10月の年2回、一般消費者と身近に接している小売業や飲食業などの家計動向関連の方に回答対象者を限定し実施しております。

今般、調査結果をとりまとめましたのでお知らせいたします。なお、詳細は当研究所機関誌「福島の進路」6月号(5月29日発行)に掲載するとともに当研究所ホームページでもご覧いただけます。

記

1. 消費動向

ウォッチャー（アンケート調査回答者）が、日々の仕事を通じて接している顧客の様子から把握できる消費動向（購買状況）について尋ねた。

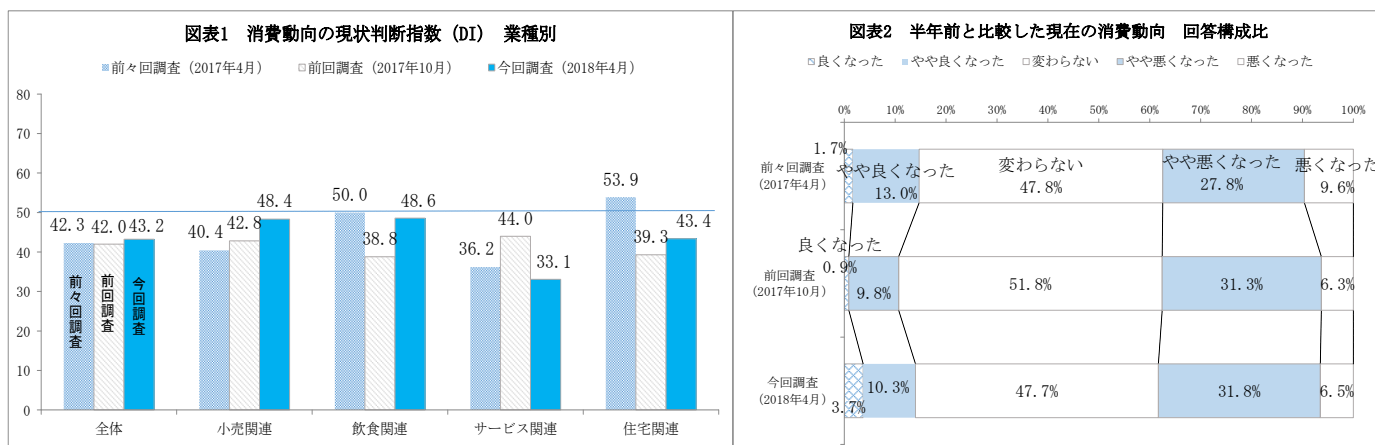
（1）消費動向の現状判断（半年前と比較した現在）

小売と飲食で上昇するも、全体では前回調査と同じ水準であると判断された。

- 消費動向の現状判断指数は43.2（前回調査比+1.2ポイント）となり、前回調査と同じ水準と判断され、横ばいを示す50を6回連続で下回った（図表1）。
- マイナス判断したウォッチャーが4割近く、現状の消費動向を厳しく判断しているウォッチャーが依然として多いながらも、「良くなった」と判断したウォッチャーが増えた（図表2）。

◇業種別

- 今回調査ではいずれの業種も50を下回り、下降局面であると判断されているが、小売関連が48.4（同+5.6ポイント）、飲食関連が48.6（同+9.8ポイント）と横ばい（50.0）近くまで上昇した（図表1）。
- マイナス判断した理由としては「来店客数の減少」が8割近くを占め（複数回答）最も多かった。



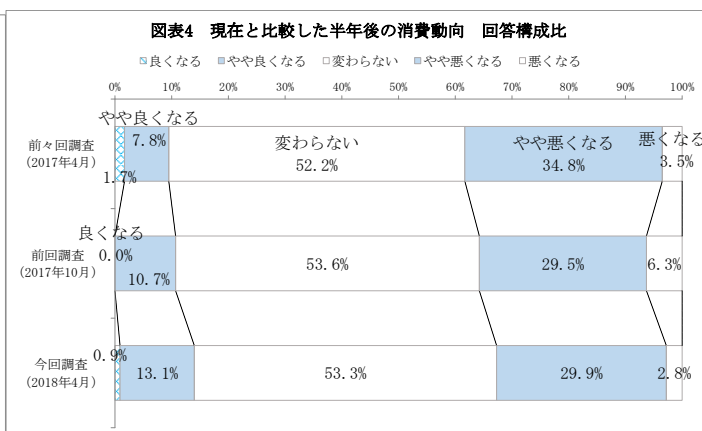
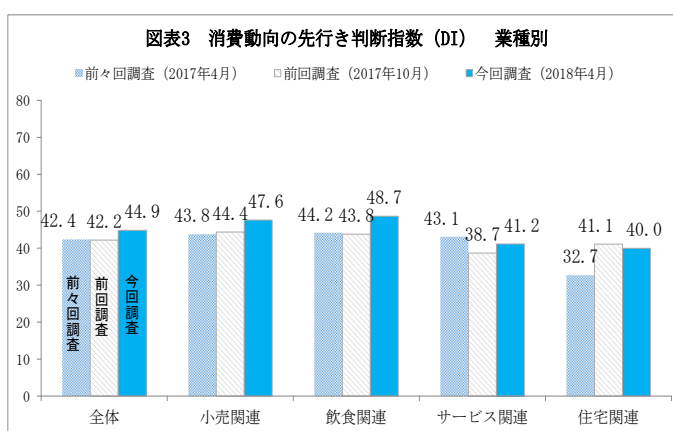
(2) 消費動向の先行き判断（現在と比較した半年後）

前回調査に比べやや良化するも、現状判断と同様に「下降局面」と判断された。

- 消費動向の先行き判断指数は 44.9（前回調査比+2.7 ㊦）とやや上昇したが、横ばいを示す 50 を下回り、現状判断と同様に「下降局面」と判断された（図表 3）。
- プラス判断したウォッチャーが前回調査比 3.3 ㊦増加するとともに、マイナス判断したウォッチャーが同 3.1 ㊦減少したことで、判断指数が良化した（図表 4）。

◇業種別

- 今回調査では、6 回連続で全業種が 50 を下回ったが、小売関連 47.6（同+3.2 ㊦）など 3 業種において前回調査比で判断指数が良化した（図表 3）。
- マイナス判断した理由について、「来店客数の減少」（68.6%）が最も多くあげられた（複数回答）。



2. 景気動向

ウォッチャー自身の回りの景気（経済情勢）について尋ねた。

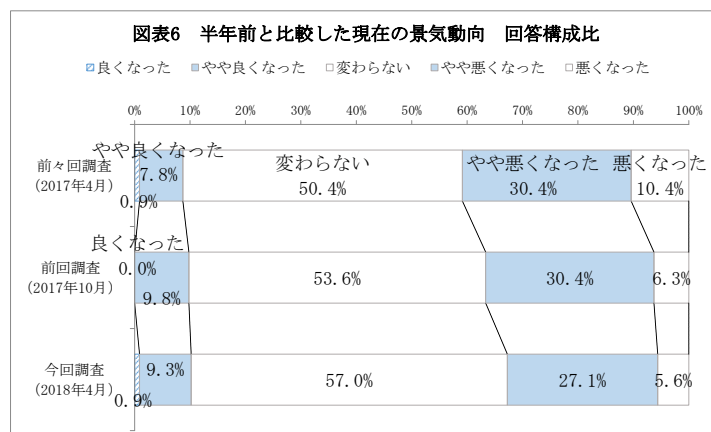
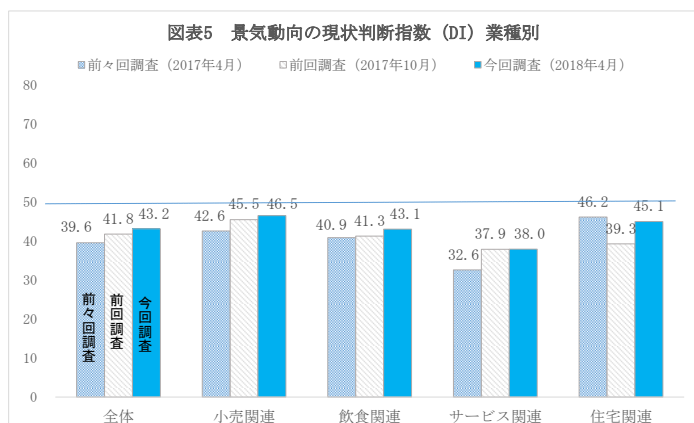
(1) 景気動向の現状判断（半年前と比較した現在）

前回調査比で全業種上昇するものの、判断指数は「下降局面」とどまる。

- 景気動向の現状判断指数は 43.2（前回調査比+1.4 ㊦）とやや良化した、「横ばい」を示す 50 を下回り、下降局面と判断された（図表 5）。
- プラス判断したウォッチャーが前回調査比 0.4 ㊦増加、マイナス判断したウォッチャーが同 4.0 ㊦減少したことで、やや判断指数が良化した（図表 6）。

◇業種別

- 全ての業種が 50 を下回っているものの、前回調査に比べ判断指数が良化した（図表 5）。



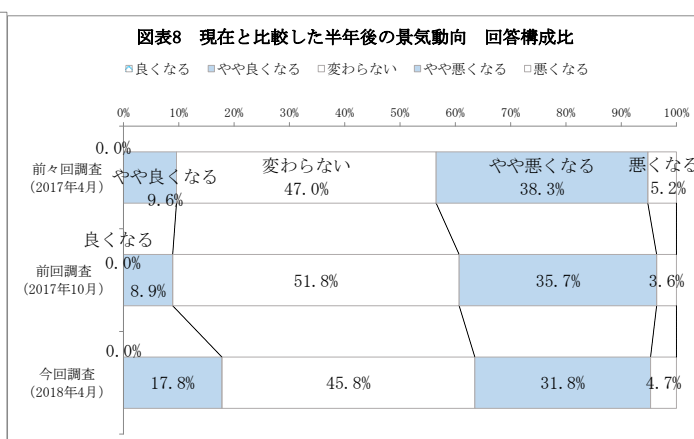
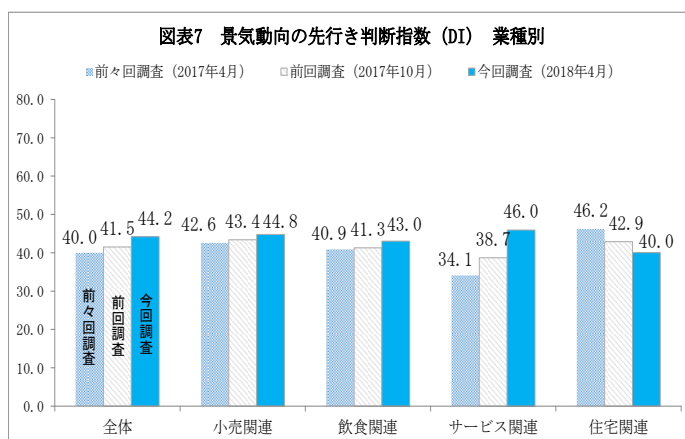
(2) 景気動向の先行き判断（現在と比較した半年後）

前回調査より良化するものの、依然としてマイナス判断するウォッチャーが多い。

- ・景気動向の先行き判断指数は 44.2（前回調査比+2.7 ㊦）と良化したものの、横ばいを示す 50 を下回り、下降局面であると判断された（図表 7）。
- ・マイナス判断したウォッチャーが前回調査比 2.8 ㊦減少するとともに、プラス判断したウォッチャーが同 8.9 ㊦増加したことで、判断指数が良化した（図表 8）。

◇業種別

- ・全ての業種が 50 を下回り、下降局面になると判断された。サービス関連が前回調査比 7.3 ㊦上昇する一方、住宅関連が同△2.9 ㊦とやや下降した（図表 7）。



3. 地域別の消費・景気動向

相双地域の消費動向・景気動向の先行きで「上昇局面」と判断された。

◇消費動向現状判断

いずれの地域も 50 を下回り、「下降局面」とであると判断された（図表 9）。県中といわきの 2 地域のみ前回調査に比べ上昇した。

◇消費動向先行き判断

相双が 53.1（前回調査比+14.2 ㊦）と 50 を上回り、上昇局面にあると判断された（図表 9）。

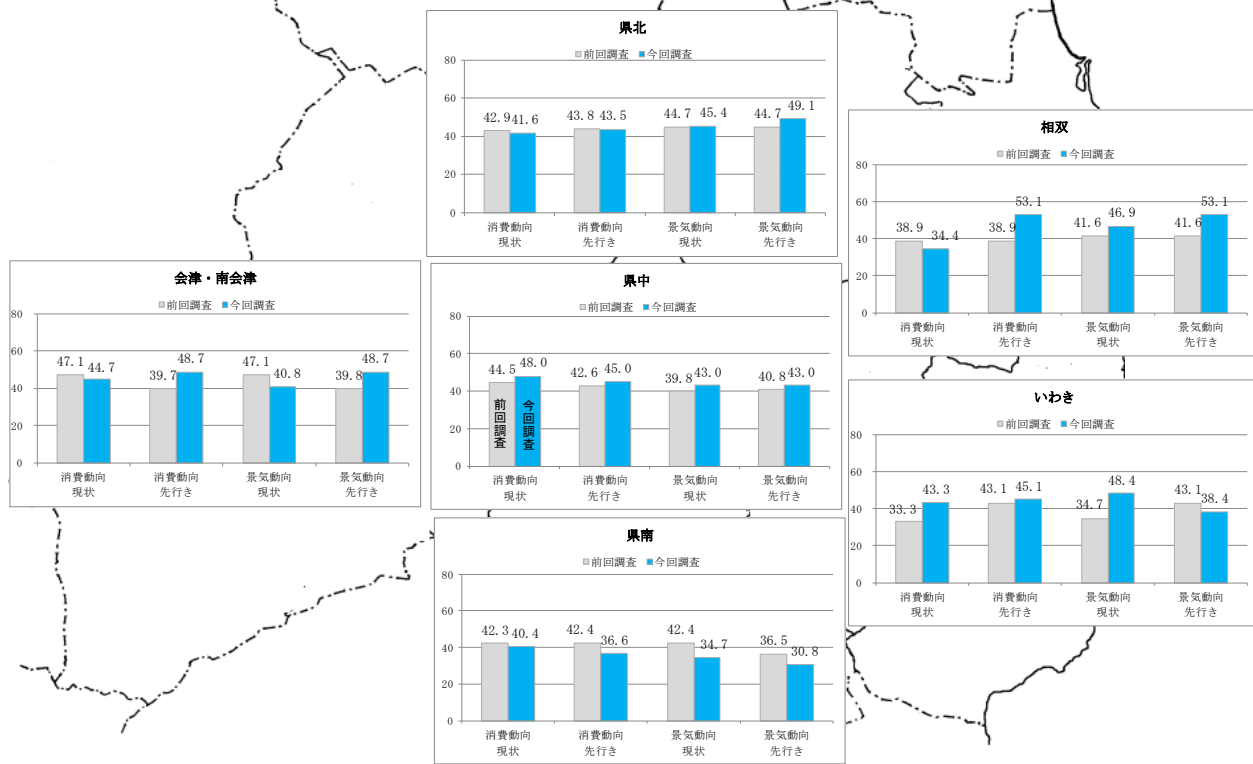
◇景気動向現状判断

全ての地域が横ばいを示す 50 を下回っており、最も高いいわきでも 48.4（同+13.7 ㊦）と、下降局面にあると判断された（図表 9）。

◇景気動向先行き判断

相双が 53.1（同+11.5 ㊦）と 50 を上回り、上昇局面にあると判断された。ただし、相双では「復興関係者の減少が影響している」という意見がみられ、復興需要がピークアウトした影響は大きいものとみられる（図表 9）。

図表9 地域別の消費動向・景気動向判断指数 (DI)



4. まとめ

- ◇ 内閣府の景気ウォッチャー調査（2018年4月調査）の家計動向関連についてみると、景気の現状判断DIは47.7（前月比±0.0 ㊦）、景気の先行き判断DIが49.4（同+0.3 ㊦）と発表された。調査時期が内閣府と当研究所で異なっているものの、当研究所調査では現状判断DIが43.2、先行き判断DIが44.9とDI値が前回比やや良化したものの、全国に比べ厳しく判断されており、横ばいを示す50を下回り下降局面にあることがわかった。

ただし、日銀短観をみると、県内企業の業況判断DIは2011年12月以降プラス値となっており、直近（2018年3月）において全国が+17、福島県も+10とともにプラス値となっている。

- ◇ 今回の調査では、小売関連と飲食関連の消費動向について現状判断、先行き判断とも上昇し、横ばいを示す50に近づくなど、全体的には前回調査に比べやや良化している。ただし、消費動向の現状判断で「悪くなった」または「やや悪くなった」と回答したウォッチャーは約4割を占めている。

震災後の本県経済を支えていた復興需要の影響が薄れてきた今、県内での自発的な消費喚起が必要となってきた。東北中央道や相馬福島道路一部開通により、南東北3県を結ぶ交通アクセスが格段に向上しており、交流人口が増えることによって地域が活性化し、地域住民の消費活動の盛り上がりにもつながっていくことを期待したい。

※DI (Diffusion Index) …本調査では、現在と比較した半年前または半年後の方向性を点数化し、50を上回れば上昇局面、50を下回れば下降局面と判断している（P5の5番の判断指数の算出方法を参照）。

以上

○調査要領

1. 調査対象者

県内の景気の動きを実態面から敏感に観察できる立場の方138名

2. 回収状況

有効回答数 107 件 回答者の業種・地域は6・7のとおり
回収率 77.5 %

3. 調査時期

2018年4月実施
(年2回、4月と10月に実施)

4. 調査内容

- (1) 半年前と比較した現在の消費動向
- (2) (1)の判断理由
- (3) 現在と比較した半年後の消費動向
- (4) (3)の判断理由
- (5) 半年前と比較した現在の景気動向
- (6) 現在と比較した半年後の景気動向

※(1)(3)(5)(6)は5段階評価による回答とする。

※ここでは、消費動向は日々の仕事を通じて接する顧客の様子から把握できる購買状況、景気動向は回答者の身の回りの経済情勢のことを指す。

5. 判断指数(DI値)の算出方法

5段階の回答区分に、それぞれ下図のとおり点数を与え、それらに各回答区分の構成比(%)を乗じてDI値(Diffusion Index)を算出する。

DI値は50を判断の目安としており、50を上回っていれば上昇局面、50を下回っていれば下降局面と判断する。

回答区分	良くなった 良くなる	やや良くなった やや良くなる	変わらない	やや悪くなった やや悪くなる	悪くなった 悪くなる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

6. 調査回答者の所属分野・業種

分 野	調査対象者の代表的な業種
小売関連 (43名)	一般小売店 スーパーマーケット コンビニエンスストア など
飲食関連 (18名)	料理店 酒場 など
サービス関連 (31名)	旅館・ホテル タクシー 娯楽 理美容 など
住宅関連(15名)	住宅・不動産販売

7. 対象地域の区分

地 域 (調査回答者数)	市 郡 名
県北(27名)	福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡、安達郡
県中(25名)	郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡、石川郡、田村郡
県南(13名)	白河市、西白河郡、東白川郡
会津・南会津(19名)	会津若松市、喜多方市、耶麻郡、河沼郡、大沼郡、南会津郡
相双(8名)	南相馬市、相馬市、双葉郡、相馬郡
いわき(15名)	いわき市

本件に関する質問・お問い合わせ先

担当：高橋

TEL 024-523-3171